

[報告]

富岡文部科学大臣政務官がサイバーサイエンスセンターを訪問

平成 26 年 7 月 29 日、富岡勉文部科学大臣政務官ほかが視察のため、サイバーサイエンスセンターを訪問されました。

明野理事、青木副学長が出迎え、小林広明センター長から、センターの高性能計算基盤の整備・運用や研究開発について、概要の説明を行い、引き続き曾根秀昭副センター長から、全学共通情報基盤、地域ネットワーク、情報セキュリティ、および人材育成などの説明が行われました。

懇談では、ベクトル型スーパーコンピュータの学術利用や産業利用および次世代スパコンの研究開発の取り組み、特に、東日本大震災以降の最大の関心事である防災・減災に関して、スーパーコンピュータを活用したリアルタイム津波・浸水予測シミュレーション技術開発などの成果を紹介し、続いて、大学で開発が進められている無線 LAN ローミング基盤技術をさらに普及し活用することについて説明が行われた後、富岡政務官からは、ご意見とご質問をいただき、活発な議論がなされました。

最後に、スーパーコンピュータ、分散コンピュータ博物館、および大規模シミュレーション解析結果を 3D の大画面で確認することができる三次元可視化システムを視察されました。そこでは、X 線を照射した際のフラーレンが爆発する様子のシミュレーション結果を例に高精細に 3 次元可視化することの有用性の説明が行われました。



専用メガネを用いての三次元可視化システムの視察



集合写真：左から 4 番目が富岡文部科学大臣政務官